

平成29年度第1回山口県教育振興推進会議（概要）

日時：平成29年9月1日（金） 15時～17時

場所：教育委員会室

議事 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価について

■資料1-1、1-2に基づき事務局より説明

■主な意見

- 教育委員の活動状況については、全体的にアクティブによく活動しており、今後も継続的な取組を期待
- グローバル人材の育成については、社会に出て実際に外国の方とコミュニケーションが取れる英語力の育成が必要
- 民間企業での教員研修は、その後をフォローして成果を検証することが必要
- 中高生の朝食摂取率が向上するよう、要因をしっかりと分析することが必要
- 教員研修に保護者が参加するなど、保護者も成長できる取組が必要
- 不登校については、発達障害が関係しているケースもあり、SCやSSWの資質向上などにより、学校で早期に適切な対応ができるような体制づくりが必要
- 教員は大変忙しいと思うが、研修を受けた後も学校内でしっかりフォローし、相談し合える体制をつくる必要がある
- 山口県にはAFPYという全国的にもすばらしい取組があるので、こうした取組により、子どもたちの豊かな心の育成に取り組むことが重要
- 人権教育に長い間よく取り組んでおり、今後もしっかり取り組むことが重要
- 子どもたちを地域ぐるみで育てようという取組に大いに共感する。今後は、市町とも連携しながら社会教育の取組をさらに充実させることが必要
- 県の取組を市町や学校現場で具体化できるようにするため、説明や助言をしっかり行っていくことが必要
- 部活動での外部指導者の活用など、教員の時間外業務時間の削減に取り組んでいくことが必要
- 点検評価の結果は市町や学校現場へフィードバックし、PDCAサイクルをしっかりと機能させることが重要
- 数値化にこだわらずに点検評価を行っていくことが重要
- 教育委員会は誠実に点検評価を行っており、次年度に向けてPDCAサイクルをきちんと回していると感じる